

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅰ 急性期援助論	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年6月5日	単位数/時間	1単位/30時間 以下の3単元で構成される ①急性期援助論：10時間 ②回復期・慢性期援助論：12時間 ③終末期援助論：8時間
担当講師名	外部講師 古舘 勇一	所属/役職	県立宮古病院 看護師
		資格・免許	救急看護認定看護師
授業の概要	急性期にある対象の具体的な看護実践の内容と方法を理解する 1. 手術後患者の看護（総論） 2. 集中治療を受ける患者の看護（心臓手術を受ける患者の看護含む） 3. 救急看護		
到達目標	1. 手術後患者の予測される経過と必要な看護が理解できる 2. 集中治療を受ける患者に必要な看護が理解できる 3. 心臓手術を受ける患者の看護が理解できる 4. 救急患者のアセスメントができ、応急処置の方法が理解できる		
事前学習内容	毎回テキストを読んで予習してくる		
成績評価の方法	筆記試験 100点 3単元の平均点が科目の成績評価となる。 各単元で6割に満たない場合は再試験となる。		
使用テキスト	(1)医学書院 クリティカルケア看護学 第2版第4刷 (2)医学書院 臨床外科看護総論 第12版第1刷 (3)医学書院 臨床外科看護各論 第10版第1刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	手術を受ける患者の看護（術前・術後）：総論 テキスト(2)第6章(感染予防は除く)、第7章、第9章 ※第8章の手術中の看護は除く		講義
第2回	集中治療を受ける患者の看護〈1〉テキスト(1)第1章、2章、3章		講義
第3回	集中治療を受ける患者の看護〈2〉テキスト(1)第4章		講義
第4回	心臓手術を受ける患者の看護 テキスト(3)第2章 P74～156		講義
第5回	救急患者のアセスメント テキストなし ・急性症状への応急処置、ショックへの対応 ・外傷・熱傷・中毒への応急処置 ・熱中症・低体温症への応急処置		講義
履修上の留意点	分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅰ 回復期・慢性期援助論	分野/教育内容	専門分野/成人看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 5 年 7 月 11 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 以下の3単元で構成される ①急性期援助論:10 時間 ②回復期・慢性期援助論:12 時間 ③終末期援助論:8 時間	
担当講師名	石崎 美由紀	所属/役職	専任教員	
		資格・免許	看護師	
	千葉 美香	所属/役職	県立軽米病院 看護師	
		資格・免許	慢性疾患看護分野専門看護師	
授業の概要	回復期・慢性期にある対象の具体的看護実践の内容と方法を学ぶ			
到達目標	1. 経過別リハビリテーション看護について理解できる。 2. 国際生活機能分類(ICF)の構成要素について知り、相互作用について考えることができる。 3. 障害がある人の、障害の認識過程を理解できる。 4. 行動変容を促すアプローチについて理解できる。 5. 効果的な症状マネジメントを導くアプローチについて理解できる。			
事前学習内容	毎回テキストを読んで予習してくる			
成績評価の方法	回復期援助論:石崎担当 筆記試験 40 点 慢性期援助論:石崎担当 演習課題 20 点 /千葉担当 筆記試験 40 点 /合計 100 点 ※3単元(上記①②③)の平均点が科目の成績評価となる。 各単元で6割に満たない場合は再試験となる。			
使用テキスト	医学書院 成人看護学総論 第 16 版第 1 刷			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態	講師
第1回	回復期にある患者の看護(1):第8章 経過別リハビリテーション看護、国際生活機能分類(ICF)		講義	石崎
第2回	回復期にある患者の看護(2):第8章 障害受容の理解と援助		講義	石崎
第3回	慢性期にある患者の看護(1):第3章 行動変容を促進するアプローチ、トランスセオレティカルモデル		講義	千葉
第4回	慢性期にある患者の看護(2):第3章 症状マネジメント、意思決定支援、集団へのアプローチ、 家族支援		講義	千葉
第5回	患者指導におけるアプローチの方法(1)		演習	石崎
第6回	患者指導におけるアプローチの方法(2)		演習	石崎
履修上の留意点	・授業の順番が変わることがあるため、時間割で確認する。 ・分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する。			

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅰ 終末期援助論	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年7月14日	単位数/時間	1単位/30時間 以下の3単元で構成される ①急性期援助論:10時間 ②回復期・慢性期援助論:12時間 ③ <u>終末期援助論:8時間</u>
担当講師名	西 明子	所属/役職	県立釜石病院
		資格・免許	緩和ケア認定看護師
授業の概要	終末期にある対象の具体的看護実践の内容と方法を学ぶ		
到達目標	1. 緩和ケアを必要とする対象が理解できる 2. 各症状における援助方法が理解できる 3. 臨死期にある対象の身体的・精神的特徴が理解できる 4. 意思決定支援における看護師の役割が理解できる		
事前学習内容	毎回テキストを読んで予習してくる		
成績評価の方法	筆記試験 100点 ※3単元(上記①②③)の平均点が科目の成績評価となる。 各単元で6割に満たない場合は再試験となる。		
使用テキスト	(1)医学書院 成人看護学総論 第16版 第1刷 (2)南江堂 がん看護 第1版 第2刷 (<u>乳がん事例を除くp281～292</u>)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	緩和ケアを必要とする患者と家族への看護 ・がん患者/慢性心不全患者/慢性呼吸不全患者/難病患者		講義
第2回	症状アセスメントとマネジメント(1) ・がん疼痛/倦怠感/悪液質/呼吸困難		講義
第3回	症状アセスメントとマネジメント(2) 消化器症状/リンパ浮腫/不安・抑うつ/せん妄		講義
第4回	臨死期にある対象の看護 意思決定支援、代理意思決定支援、家族への悲嘆のケア		講義
履修上の留意点	分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅱ （呼吸器）	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年7月4日	単位数/時間	1単位/30時間 成人看護援助論Ⅱは以下の3単元で構成される <u>呼吸器：10時間</u> 循環器：10時間 消化器：10時間
担当講師名	三浦穂乃香	所属・役職	岩手県立宮古病院・看護師
		資格・免許	看護師
授業の概要	呼吸器系に疾病や障害を有する人々の看護を学ぶ		
到達目標	1. 呼吸機能障害がもたらす生命・生活への影響を理解する 2. 呼吸機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実践を理解する		
事前学習内容	1年次に学習した以下の授業の内容を復習しておく ・ 解剖学と生理学…呼吸器系を中心に ・ 疾病と治療Ⅱ（呼吸器）		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	成人看護学②呼吸器　メヂカルフレンド社　第4版		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2編　呼吸器疾患患者の看護 第1章　看護の基本		講義
第2回	第2章　主な症状に対する看護 第3章　主な検査・治療に伴う看護		
第3回	第3章　主な検査・治療に伴う看護		
第4・5回	第4章　呼吸器疾患をもつ患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとってから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅱ (循環器)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年 令和5年5月11日	単位数/時間	1単位/30時間 成人看護援助論Ⅱは以下の3単元で構成される ・ 呼吸器：10時間 ・ <u>循環器：10時間</u> ・ 消化器：10時間
担当講師名	中澤恵美子	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	循環器系に疾病・障害を有する人への看護を学ぶ		
到達目標	循環機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実践を理解する		
事前学習内容	1年次に学習した以下の授業の内容を復習しておく ・ 解剖学と生理学…循環器系(心・血管系)を中心に ・ 疾病と治療Ⅱ(循環器)		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	成人看護学③循環器　メヂカルフレンド社　第5版第2刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2編　循環器疾患患者の看護 第1章　看護の基本		講義
第2回	第2章　主な症状に対する看護		
第3回	第3章　主な検査と治療に伴う看護		
第4・5回	第4章　循環器疾患をもつ患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和 5 年度 60 回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅱ (消化器系看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2 年前期 令和 5 年 6 月 28 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 呼吸器系看護：10 時間 循環器系看護：10 時間 <u>消化器系看護：10 時間</u> 3 単元を合わせて 1 単位
担当講師名	山根 智草	所属・役職	県立宮古病院 主任看護師
		資格・免許	看護師
授業の概要	消化器系に疾病、障害を有する人々に対する看護の方法を学ぶ		
到達目標	消化器系疾患や消化器症状のある患者に対する看護を理解し、臨床場面で応用できる		
事前学習内容	消化器系の解剖生理について、復習してから講義に臨むこと		
成績評価の方法	終講試験、授業態度を踏まえて評価する（著しく態度が悪い場合は減点）		
使用テキスト	成人看護学⑤ 消化器 . メジカルフレンド社.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第 2 編 第 1 章 看護の基本 p296～330		講義
第 2 回	第 2 編 第 2 章 主な症状に対する看護 p332～370		講義
第 3 回	第 2 編 第 3 章 主な検査・治療に伴う看護 p372～448		講義
第 4 回	第 2 編 第 4 章 消化器疾患をもつ患者の看護 p450～523		講義
第 5 回	事例検討、まとめ		講義・GW
	終講試験		
履修上の留意点	・わからない事はそのままにせず、自身で調べて学習を深めていくこと		

令和5年度 60 回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅲ (がん看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学		
開講年次・時期	2年前期	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の3単元で構成される ① <u>がん看護</u> :12 時間 ② <u>外科看護</u> :12 時間 ③ <u>女性生殖器系</u> :6時間		
担当講師名	がん性疼痛看護 田中 由美子	所属・役職	岩手県立宮古病院		
		資格・免許	がん性疼痛看護認定看護師		
	がん化学療法看護 長澤 末美	所属・役職	岩手県立宮古病院		
		資格・免許	がん化学療法看護認定看護師		
	乳がん看護 古澤 優子	所属・役職	岩手県立宮古病院		
		資格・免許	乳がん看護認定看護師		
	放射線療法看護 南久保ひとみ	所属・役職	岩手県立釜石病院		
		資格・免許	がん放射線療法看護認定看護師		
授業の概要	がん患者の看護を学ぶ。本単元では、がん性疼痛看護、がん化学療法看護、乳がん患者の看護、放射線療法看護について学ぶ。				
到達目標	1. がん性疼痛のある対象の看護について理解できる 2. 化学療法を受ける対象の看護について理解できる 3. 乳がん患者の看護について理解できる 4. 放射線療法を受ける対象への看護について理解できる				
事前学習内容	テキストの該当部分を読んで予習する				
成績評価の方法	筆記試験 100 点 (<u>4 名の講師 各 25 点の配点</u>) ※3単元(上記①②③)の平均点が科目の成績評価となる 各単元で6割に満たない場合は再試験となる				
使用テキスト	(1)がん看護 南江堂 第1版第2刷 (2)臨床外科看護各論 医学書院 第10版第1刷 (第1章のみ) (3)臨床放射線医学 医学書院 第10版第3刷				
授業内容 (回数)	授業概要(主な学習内容)		テキスト	講師	授業形態
がん性疼痛看護 (1 回)	疼痛のメカニズム、アセスメントの方法、 <u>p205～211</u> 疼痛のある対象への援助		(1)	田中	講義
がん化学療法看護(2 回)	1 回目: がん化学療法薬について <u>p126～134</u> 2 回目: 化学療法を受ける対象の看護 <u>p163～172</u>		(1)	長澤	講義
乳がん看護 (1 回)	乳がん患者の看護 (1) <u>p172～176、281～292 (事例)</u> (2)第1章		(1) (2)	古澤	講義
放射線療法看護 (2 回)	1 回目: 画像診断と看護 (3)第1・9章 2 回目: 放射線療法を受ける対象の看護 (1) <u>p135～140、177～182</u>		(1) (3)	南久保	講義
履修上の留意点	・ 講義の順序は、上記の通りに進まないこともあるため時間割で確認しながら予習等を進める				

令和5年度 60 回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅲ (外科看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和5年8月 21 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の3単元で構成される ① がん看護:12 時間 ② <u>外科看護:12 時間</u> ③ 女性生殖器系:6時間
担当講師名	岩崎 孝思	所属・役職	岩手県立久慈病院
		資格・免許	手術看護認定看護師
授業の概要	外科的治療を受ける患者の看護を学ぶ。本単元では、周手術期の患者の事例をとおして看護を学ぶ		
到達目標	1. 手術室における術中の看護について理解できる 2. 外科的治療を必要とする各疾患における患者の看護について理解できる 3. 手術侵襲を最小限にする援助について理解できる		
事前学習内容	テキストの該当部分を読んで予習する		
成績評価の方法	筆記試験 100 点 ※3単元(上記①②③)の平均点が科目の成績評価となる 各単元で6割に満たない場合は再試験となる		
使用テキスト	(1)臨床外科看護総論 第 12 版第1刷 医学書院 (2)臨床外科看護各論 第 10 版第1刷 医学書院 (第2章は除く)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	手術室看護 テキスト(1)第 8 章		講義
第2回	肺・胸部疾患手術の看護(乳がん術後を除く):テキスト(2)第 1 章 食道癌手術患者の看護:テキスト(2)第 3 章		講義
第3回	大腸手術患者の看護、直腸癌手術患者の看護 テキスト(2):第 3 章 人工肛門造設患者の看護		講義
第4回	膵・胆管・肝手術患者の看護:テキスト(2)第 3 章		講義
第5回	脳・神経疾患手術の看護:テキスト(2)第 4 章		講義
第6回	頭部・頸部疾患手術の看護:テキスト(2)第 5 章		講義
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60 回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅲ (女性生殖器)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年 5 月 31 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の3単元で構成される ① がん看護:12 時間 ② 外科看護:12 時間 ③ <u>女性生殖器系</u> :6時間
担当講師名	千葉勝子	所属・役職	看護教員
		資格・免許	助産師・看護師
授業の概要	女性生殖器系の疾病・障害を有する人々の健康回復にむけ、具体的な看護実践の方法を学ぶ。		
到達目標	女性のライフステージでの特徴と疾患、治療、看護の特徴を理解する。 女性生殖器疾患患者の、経過や治療に応じた看護について理解する。		
事前学習内容	女性生殖器の解剖・生理・母性看護概論を復習して臨む		
成績評価の方法	筆記試験 80点 看護過程 20点 ※3単元(上記①②③)の平均点が科目の成績評価となる 各単元で6割に満たない場合は再試験となる		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑨ 女性生殖器		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	女性生殖器疾患を学ぶための基礎知識 ① 女性生殖器の構造と機能(外性器・内性器・性周期) ② 女性のライフステージにおける健康問題 ③ 婦人科の診察を受ける人への看護 ④ 婦人科の検査を受ける人の看護 ⑤ 婦人科の主な治療・処置と看護 ⑥ 女性生殖器の疾患と看護		講義
第2回	婦人科の手術を受ける患者の看護 看護過程の展開		講義 個人ワーク
第3回	婦人科の手術を受ける患者の看護 看護過程の展開		個人ワーク グループワーク 発表
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅳ (脳神経)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年7月6日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・ <u>脳神経系看護：10時間</u> ・ 内分泌・代謝看護：10時間 ・ 血液・造血器看護：10時間
担当講師名	岩渕 枝里香	所属・役職	岩手県立宮古病院・看護師長補佐
		資格・免許	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
授業の概要	脳神経系に疾病・障害を有する人々への看護を学ぶ。特にこの単元では、急性期にある患者の事例をとおり看護を学ぶ		
到達目標	脳神経系の機能に障害をもつ対象の健康の維持・回復に向け具体的な看護実践の方法を学ぶ		
事前学習内容	1. 本単元に関連する人体の構造と機能を復習しておく 2. 本単元に関連する疾患の病態生理について復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	医学書院 専門分野 成人看護学 脳・神経		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 脳・神経系の看護を学ぶにあたって 第6章 症状・障害をもつ患者の看護		講義
第2回	第6章 症状・障害をもつ患者の看護		講義
第3回	第6章 治療・処置を受ける患者の看護		講義
第4回	第6章 疾患をもつ患者の看護		講義
第5回	第6章 疾患をもつ患者の看護		講義・演習
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける		

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅳ (内分泌・代謝)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年6月20日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は脳神経系看護、血液・造血器看護、内分泌・代謝看護の各単元10時間で構成される
担当講師名	箱石 恵子	所属・役職	岩手県立大船渡病院 総看護師長
		資格・免許	看護師
授業の概要	内分泌・代謝系に疾病、障害を有する人々への看護を学ぶ。特にこの単位では、慢性期にある患者の事例をとおり、その看護を学ぶ。		
到達目標	内分泌・代謝系の機能障害をもつ患者の健康の維持・回復に向け、具体的な看護実践を学ぶ		
事前学習内容	1年次に履修した、内分泌・代謝に関する授業の内容(解剖学、生理学、疾患)を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	医学書院 専門分野 内分泌・代謝 成人看護学⑥ 第15版		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 内分泌・代謝の看護を学ぶにあたって 内分泌・代謝疾患の患者の特徴と看護の役割		講義
第2回	第6章 患者の看護 A. 疾患をもつ患者の経過と看護		
第3回	第6章 患者の看護 B. 内分泌疾患患者の看護		
第4回	第6章 患者の看護 C. 代謝疾患患者の看護		
第5回	第7章 事例による看護過程の展開 2型糖尿病患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおりしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける 4. 解剖生理学、病態学(内分泌・代謝)、看護技術(指導技術)、成人保健などで学んだ知識を復習し、学びを深められるように受講する		

科目名	成人看護援助論Ⅳ (血液・造血器看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年5月24日～6月	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される <u>血液・造血器看護</u> ：10時間 脳神経系看護：10時間 内分泌・代謝看護：10時間
担当講師名	石崎美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	血液・造血器疾患を有する人々の健康回復にむけ、具体的な看護実践の方法を学ぶ		
到達目標	血液・造血器疾患患者の看護と検査・治療に伴う看護の実践を理解する		
事前学習内容	疾病と治療Ⅳ「血液・造血器」の復習 ※学習ノートの提出は課さないが、事前～事中学習を進める		
成績評価の方法	筆記試験（100点満点） 「血液・造血器看護」「脳神経系看護」「内分泌・代謝看護」の平均点が科目の評価点となる		
使用テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器 第15版第4刷 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	主要症状を有する患者の看護 (p153～163) (1)貧血 (2)出血傾向 (3)白血球減少		講義
第2回	検査・治療を受ける患者の看護 (p163～165／p199～202) (1)骨髄穿刺・骨髄生検 (2)輸血療法		講義
第3回	血液疾患を有する患者の看護 (1)悪性リンパ腫 (p211～219／ p234～243) (2)血友病 (p219～220)		講義
第4回	血液疾患を有する患者の看護 (3)造血幹細胞移植 (p184～199)		講義
第5回	血液疾患を有する患者の看護 (4)白血病 (p202～210／ p224～233)		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患の復習を並行して進め、積極的に知識の習得に努めること。 ・授業の中で随時「確認テスト」を行う。 ・「がん薬物療法と看護」p168～180は〔がん看護：化学療法看護〕で履修済み。 ・「放射線療法と看護」p180～183は〔疾病と治療Ⅴ/がん看護〕で履修予定。 		

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅴ (運動器)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和5年11月14日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・運動器：10時間 ・腎・泌尿器系看護：10時間 ・膠原・アレルギー系看護：10時間
担当講師名	堀合 省吾	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	運動器に疾病・障害を有する人々への看護を学ぶ。 特にこの単元では、慢性期にある患者の事例をとおり看護を学ぶ		
到達目標	1. 運動器疾患が患者に与える影響を考え、看護に必要な情報とアセスメントの視点を理解する 2. 疾病の経過別、時期別、症状や障害に対する看護を理解する		
事前学習内容	1年次の疾病と治療Ⅳ(運動器)の授業内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	メジカルフレンド社 成人看護学⑪ 運動器		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2編運動器疾患患者の看護 第1章 看護の基本 I. 運動器疾患と看護の役割 II. 情報収集とアセスメント III. 経過別に見た生じやすい問題と看護 IV. 看護の場とその特徴)		講義
第2回	第2章 主な症状・障害に対する看護		講義
第3回	第3章 主な検査と治療に伴う看護		講義
第4回	第4章 運動器疾患をもつ患者の看護		講義
第5回	第4章 運動器疾患をもつ患者の看護		講義・演習
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅴ (腎・泌尿器)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和6年1月25日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・運動器：10時間 ・腎・泌尿器系看護：10時間 ・膠原・アレルギー系看護：10時間
担当講師名	講師名	所属・役職	資格・免許
	今村 英憲	岩手県立宮古病院・看護師長補佐	看護師
授業の概要	腎・泌尿器系に疾病・障害を有する人々の健康回復に向けた具体的な看護実践を学ぶ。また、回復期にある患者の事例をとおり、その看護実践を学ぶ		
到達目標	腎・泌尿器の機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実際を理解する		
事前学習内容	腎・泌尿器系に関する既習の内容(解剖学、生理学、疾患)を復習してから授業に臨む		
成績評価の方法	試験 (100点)		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧腎・泌尿器(第15版), 医学書院, 2019.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 腎・泌尿器の看護を学ぶにあたって A. 医療の動向と看護 B. 患者の特徴と看護の役割 第6章 患者の看護 I. 疾患をもつ患者の経過と看護		講義
第2回	第6章 患者の看護 II. 症状に対する看護		
第3回	第6章 患者の看護 III. 検査を受ける患者の看護 IV. 内科的治療を受ける患者の看護		
第4回	第6章 患者の看護 IV. 内科的治療を受ける患者の看護 C. 透析療法を受ける患者の看護		
第5回	第6章 患者の看護 V. 泌尿器科的治療を受ける患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおりしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 自身の考えや疑問点は積極的に表現し、主体的に学ぶ姿勢で授業に臨む		

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅴ (膠原・アレルギー)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和6年1月18日～2月	単位数/時間	1単位/30時間 <u>膠原・アレルギー看護：10時間</u> 運動器系看護：10時間 腎・泌尿器看護：10時間
担当講師名	石崎美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	アレルギー・膠原病を有する人々の健康回復にむけ、具体的な看護実践の方法を学ぶ		
到達目標	アレルギー・膠原病疾患患者の看護と検査・治療に伴う看護の実際を理解する		
事前学習内容	疾病と治療Ⅴ「膠原・アレルギー」の復習をして授業に臨む		
成績評価の方法	終講試験（100点）		
使用テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [11] アレルギー-膠原病感染症（第15版第3刷）, 医学書院, 2022. 系統看護学講座 成人看護学 [12] 皮膚（第15版第3刷）, 医学書院, 2022.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	アレルギー疾患患者の看護（アレルギー第5章：テキスト p58～108）		講義
第2回	事例による看護計画立案演習 （1）気管支喘息患者の看護（2）アナフィラキシー患者の看護		演習 講義
第3回	膠原病患者の看護（膠原病第6章：テキスト p178～214）		講義
第4回	事例による看護計画立案演習 （1）全身性エリテマトーデス患者の看護（2）関節リウマチ患者の看護		演習 講義
第5回	まとめ／練習問題・解説		講義
履修上の留意点	(1) 第1回には「気管支喘息」「アナフィラキシー」について復習して臨む。 (2) 第3回には「全身性エリテマトーデス」「関節リウマチ」について復習して臨む。 (3) 演習の際（第2・4回）は、テキストの他に各自で必要な参考書を持参してください。		